りぷろ■にゅうす

2012. 2 月号　Vol. 27
編集・発行／リプロネットみやぎ

CONTENTS

● 「みやぎの女性と男性　からだと性のホンネ！それぞれ 100 名に聞きました」 報告会開催　報告

「みやぎの女性と男性　からだと性のホンネ！それぞれ 100 名に聞きました」 報告会開催

2012 年 1 月 29 日、「みやぎの女性と男性　からだと性のホンネ！　それぞれ 100 名に聞きました」結果報告会を開催しました。

リプロネットみやぎでは、2008 年 10 月から女性版アンケートを実施し、翌年には男性版アンケートに着手、それぞれに結果報告会も開催してきました。今回、過去に集めたデータを男女の比較という観点から再分析し、未婚・既婚①（40代以下）・既婚②（50 代以上）の3群に分けての比較検討を行いました。

アンケート結果報告を踏まえた「トーク&トーク」では、年代も立場も異なる 5 人のコメンテーターが、自分たちの言葉で今感じていることを率直に語り、議論を深め、会場は大いに盛り上がりました。

その内容の一部を会員の皆様にご紹介いたします。

【アンケート結果報告】 リプロネットみやぎ代表　村口喜代さん

今回は女性版と男性版の結果を比較･検討し、一般市民の方の率直なコメントをいただき、自分たち自身の日常を振り返りながら、セクシュアリティのあり方を考えてみようと思いました。

今回のアンケート結果から、いろいろ見えてきました。総じて「成熟しない男女の性」といったところでしょうか。

○　未婚者の性行動は積極的であり、かつ避妊･性感染症対策も結構されており、女性側の関わりも強く、しかし徹底できない不安･心配も交錯する。
○　未婚女性の妊娠中絶経験者が 2 割と少なくない
○　男性にとって、未･既婚問わずマスターベーションは日常的
○　とくに男性において、カジュアルセックス、婚外性関係が少なくない。
○　50 代以上女性を除いて、夫婦間の「性交あり」は、年代差なく 7～8 割
○　恋人、夫婦間のセックスの満足度は意外に高くなく、不透明
　いずれの立場でも男性の満足度は高いが、とくに既婚 40 代以下の女性が低い
○　既婚 40 代以下で男女とも 2 割が「性交なし」‥‥とても気になる結果
○　既婚女性の 40 代以下では、毎回オーガズムありが26.3%、

○　男性では未婚･既婚問わず風俗利用経験が多い　特に 40 代以下の既婚男性に(75.6%)
○　40 代以下の既婚男性の風俗利用時期は、4割が1年以内
○　「人に聞く･相談する」は女性が圧倒的に多く、男性は少数
○　「あなたにとっての『性交渉の意味』」については、性に対する成熟過程の男女の違いが明瞭に表れており、興味深い
○　性教育の必要性を感じる人はいずれの立場でも、男性は約 5 割、女性は8割

以上を踏まえて、次のような方向で議論していただきたいと思いましたが、そのポイントを列挙させていただきます。

● 成熟するため条件は？　豊かなセクシュアリティをめざすには？
　→ 生きることに前向き、人間らしい生活ができる　社会的、
　　経済的、 精神的に well being
　→ 身体的性成熟と体の管理
　→ 性交に関わる知識、男女の性反応と成熟のしくみ
　→ コミュニケーションスキルと実行
　→ ジェンダーの縛りからの解放、男女平等
　→ 「性の権利、性は喜び」のコンセンサス

【トーク&トーク】 コーディネーター＆コメンテーター （報告順）

○　佐藤理絵さん （仙台市民･リプロネットみやぎ会員）　コーディネーター
○　菊地夏江さん （仙台市民･リプロネットみやぎ会員）　女性･40 代･既婚･子どもあり
○　村山弘治さん （仙台市民）　男性･30 代･既婚･子どもあり
○　柴田泰子さん （仙台市民･リプロネットみやぎ会員）　女性･30 代･既婚･子どもなし
○　村口喜代さん （リプロネットみやぎ代表）　女性･60 代･既婚･子どもあり
○　村瀬幸浩さん （一橋大学講師）　男性･70 代･既婚･子どもあり

それぞれのコメンテーターが、自分たち夫婦のセックスの問題や関係性、子育ての問題、それまでの葛藤や乗り越えて見えてきたことなど、率直に語り話し合いました。 村瀬先生からは、他4人の報告を受けてのコメントと、ご自分の体験を踏まえての熱いメッセージをいただきましたので、一部をご紹介いたします。

【村瀬幸浩さんのコメント】

70代男性の村瀬です。今年で結婚46年目になりましたが、いろんな山谷を越えてきました。性の問題については、いい加減にしたくないという思いがずっとあり、妻と本気になって、議論し、頭を下げ、自分の悩みを告白し、相手の主張をしっかり聞いてきました。

男子校出身の私は、若い頃エロ本でしが学んでこなかったこともあり、性に対して大きな偏見を持っておりました。一方妻は、父親を戦争で早く亡くし、男性が周りにいない生活を長く送ってきた。言ってみれば、女性に全く無知無理解な男と、男性のことをほとんど知らない女が結婚したわけです。お互いのことを全く分かっていなかったということに気がついたのは、結婚して7年後くらいのことでしたが、このことを乗り越えられなければ私たちは破綻すると思いました。そこから二人で勉強し合い、自分の性という問題に目が開き、性教育に取り組み始めました。ですから私の性教育とは「関係作り」であります。自分のことだけでなく、相手のことについても分からなければダメなんだと、これは男と女に限らず、男と男だっていろいろある。二人で学びあうことによって分かり合えるようになり、セックスが楽しくなりました。セックスの問題とは知的な問題であり、下半身のいやらしいエッチな問題であると思っては絶対にダメです。それを確信しておりますので、高校教師の頃は高校生に、今は大学生に「セックスとは何か」という問題と「セックスとは相手との関係性である」ということを伝えています。「結婚と共生」ということについても大学の講義で扱っていますが、そこでは、「結婚とは何か」「セックスとは何か」「恋愛と結婚は違う」「素晴らしい恋愛が素晴らしい結婚に繋がるとは限らない」ということを、たくさんのタレントの例なども挙げながらお話ししていきます。「結婚とは情緒的絆と性的絆を結び付ける意欲と努力がなければダメだ」「結婚とは面倒なものです」と言います。ですから「人と一緒に暮らして一致点を見つけたり、修正したりすることが面倒な人は一人で生きなさい」と学生に伝えています。 20 年間も別々の人生を歩んできた二人が一緒に暮らすということは本当に面倒なことで、「面倒くさいは悪魔のささやき」と言うんです。

それから、「若い頃のセックス」と「結婚してからのセックス」を区別して、私はいつも「Passion（情熱）」と「Intimacy（親密性）」という言葉をよく使います。結婚後のセックスは、相手の人生の苦労や大変さをお互いに理解しながら、親密性をもってするのが基本だと思います。ドキドキ・わくわくがいつまでも続くと思ったら大間違いで、それを分からず「飽きた」なんていう人には私は「怠け者！」と言います。若い頃から結婚について、もっと大人がきちんと自分の経験を振り返り、リアルに話さなければなりません。「結婚したら幸せになる」なんて嘘ですよ。結婚しても不幸せはたくさんあり、現にDVはこんなに多くて、「子どもを産んだら幸せになる」も同じくで、子どもの虐待なんて年間5万件ですよ。結婚を幸せにするためには、相当の努力が必要なんです。このことを僕は大学生にはっきりと伝えています。だから結婚前にはもっと結婚に対して慎重になり、そして関係性を作り上げるのがどうしても無理な場合は、離婚ということも考えよう、つまり「慎重な結婚と大胆な離婚」です。よくあることですが、子どもを優先している夫婦はいつか破綻します。子どもは第一じゃありません、第二ですよ。僕は別にヨーロッパがいいと言っている訳ではありませんが、結婚している状況が楽しくなければ、子どもに対する依存という関係が出来上がってきます。子どもに幸せを見つけようとすると、子どもはいい迷惑ですよね。この関係について「子ども優先」と言うのは嘘で、本当は「子ども依存」であり、夫婦の関係に諦めが始まっています。先ほど村山さんから出ました「川の字で寝る」なんていうこと、それはもうやめてください。ろくなことありません（笑）。

それから、村口さんから「男性の性意識の問題」についてお話があり、また司会の方からも「多様な価値観がそれぞれある」というようなお言葉がありましたが、私には、多くの大人たちが「価値観」と呼べるようなしっかりした考えを持っているとは思えず、多くは「偏見と思い込み」だと思います。価値観というほど人の意見を聞きながら深めたり、自分の先入観を見直すなんて作業はしていません。そしてその多くの思い込みの元になっているものは「アダルトビデオ（AV）」です。あんなことは、マスターベーションの中でファンタジーとしてはあっていいかもしれないけれど、カップルでの関係性を考えるとマイナス面の方が多いと思います。

そこで思うのは、男性があれほどマスターベーションをしているという現実とデータがあり、私自身もしていますが、女性側

の調査結果がないということ。今度はぜひやって欲しい。女性だって自分の性的衝動があったら、何も男に依頼するのではなく、自分できちんと関わっていく必要があると思います。自分の性とからだに向き合って、優しく触れて快感を得るのは当たり前の性行動の一部なのです。男も女もそうして自分と向き合いながら、パートナー同士でするセックスは、相手の同意を得て別に楽しむ。「一人でのセックス」と「二人でのセックス」はどちらも価値があるということです。大学の講義では女子学生に、「幸せな性関係を築きたいなら、自分でマスターベーションした方がいいですよ。自分の性器の構造はどうなっていて、どこを触るとどんな快感があるのか知り、付き合う相手ができたら教えましょう」と言っています。男たちはＡＶを見ていますから、めちゃくちゃ力を入れますし、力を入れると女性は気持ちいいと思い込んでいます。女性にしてみれば全く逆でしょ。できれば男の手をとって、具体的に「この程度の強さでここをこうすると気持がいいの」と男たちに教えてあげなさい、と言っています。思いやり」とか抽象的なことを言っていてもいまいちよく分からないんです。

ということで、二人で工夫し合い、話し合える関係が夫婦だと思っています。性的絆はそういうことを通して結ばれる。こんな風に大人たちが変わっていけば、セックスの雰囲気はずいぶん変わっていきます。そこまで踏み込んでいかないと現状は変わらないし、そこまで自分の性に近づいてくれた相手に愛しさを感じるのです。今日という日がそういうことに踏み込むきっかけになってくれたらいいな、と思っています。

【会場からのご意見・ご質問】

○　性教育についての話があったが、宮城県の性教育の現状はどうなっているのか。

○　今日の話はそれぞれのコメンテーターが「私は・・・している」という「アイメッセージ」で語ってくれて、多様なセクシュアリティがあることも分かり、とても素晴らしかった。ただ、男性・女性という二つの枠組みでの話だったので、それよりは「男性性」「女性性」という表現の方が、いろいろ見えてくるのではないかと思った。今後の語り場に期待する。

○　村瀬先生の「面倒なことに取り組むのが人生」はよく分かる。その一方、社会的困難さがセクシュアリティに大きな影響を与えていることは調査結果からも明らかになった。今日の社会状況を考えるとその困難さはより増しているようにも感じるが、それらを抱えながらも、どう生きる喜びに切り替え、性の喜びも感じていけるのか、ご意見が聞きたい。

○　本日の話には大変納得した。快楽を外に求めるような日本社会をなんとか変えていきたい。

【参加人数・終了後アンケート結果】

○　参加人数：109名（男性41名・女性 68 名）

○　アンケート回収件数：74 件（回収率 67.8%）

○　感想：大変良かった 68.9%　まぁまぁ良かった 24.3%　良くなかった 1.4%

【編集後記】

今回のイベントは、一般の人たちが自らの性を語るという画期的な試みで、会場は大変盛り上がりました。
今後、アンケートの結果報告とあわせ、今回のコメンテーターの話＆ディスカッション内容などを掲載した冊子を作成する予定です。また、それぞれが性の問題について自由に語り合える「語り場」も企画いたしますので、ぜひ奮ってご参加ください。詳細が決まりましたら改めてお知らせいたします。

リプロネットみやぎ事務局
FAX：022-292-0167
e-mail：repro@muraguchikiyo-wcklinic.or.jp
http://repronetmiyagi.fc2rs.com/